

桜 島

○火山活動度レベル

火山活動度レベルは 2 (比較的静穏な噴火活動)でした。

概 況

ごく小規模の噴火は発生しましたが、爆発的噴火等¹⁾は観測されませんでした。火山性地震の発生は少ないなかで、A型地震はやや多い状態が続いています。

噴火活動の状況

ごく小規模の噴火が時折発生しましたが、爆発的噴火等¹⁾は観測されませんでした。

噴煙活動の状況

時折、火山灰を含んだ乳白色または灰白色の噴煙が観測されました。灰白色の噴煙の最高高度は 18 日の 500mでした。

地震・微動活動の状況

震動観測点 B 点(南岳火口の北西約 2.3km)での火山性地震の月回数は、125 回(3月：231 回)でした。このうち B 型地震は 108 回(3月：218 回)でした(図 1 の 、)。

震源が求まった A 型地震は 9 回で、そのうち 2 回が南岳火口東部 1.5km 付近の海面下約 4 km、2 回が北岳火口北東部 1 km 付近の海面下 1 ~ 2 km に分布しました。その他はおもに南岳火口周辺の海面下 0 ~ 5 km 付近に分布しました。(図 3)

火山性微動は 3 回発生し、継続時間の合計は 3 分間でした(2月：4 回、継続時間計 6 分)(図 1 の)。

降灰の状況

鹿児島地方气象台(南岳の西南西約 11km)の観測では、降灰はありませんでした(3月：なし)(図 2 の)。

地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、昨年 11 月頃から今年 2 月にかけて各観測点間の距離の伸びがやや加速する傾向が見られましたが、3 月以降は伸びの傾向が緩やかになりました(図 4)。

1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは一定規模以上の噴火の回数を計数しています。

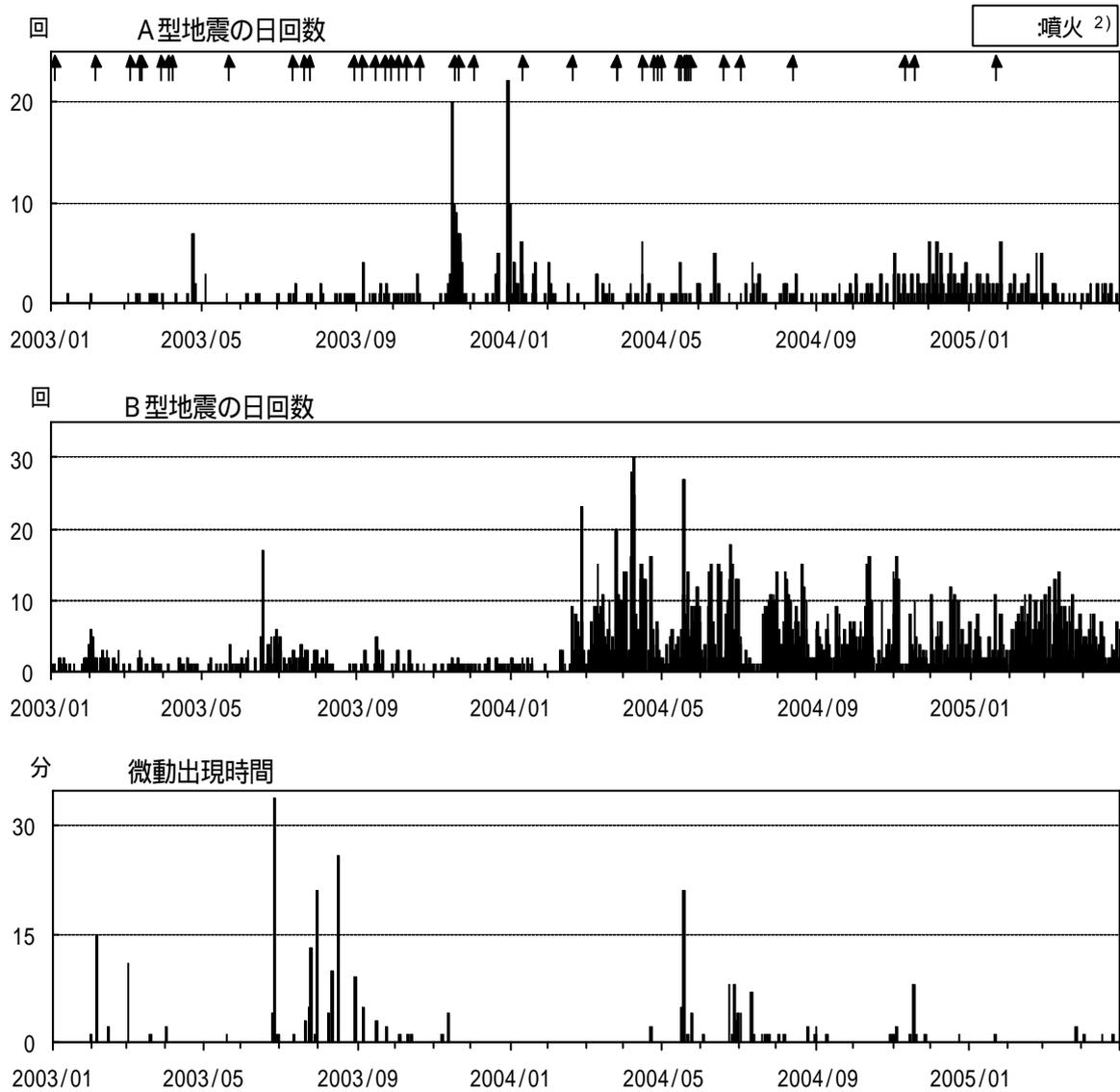


図1 火山活動経過図(2003年1月～2005年4月)

2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは一定規模以上の噴火を表しています。

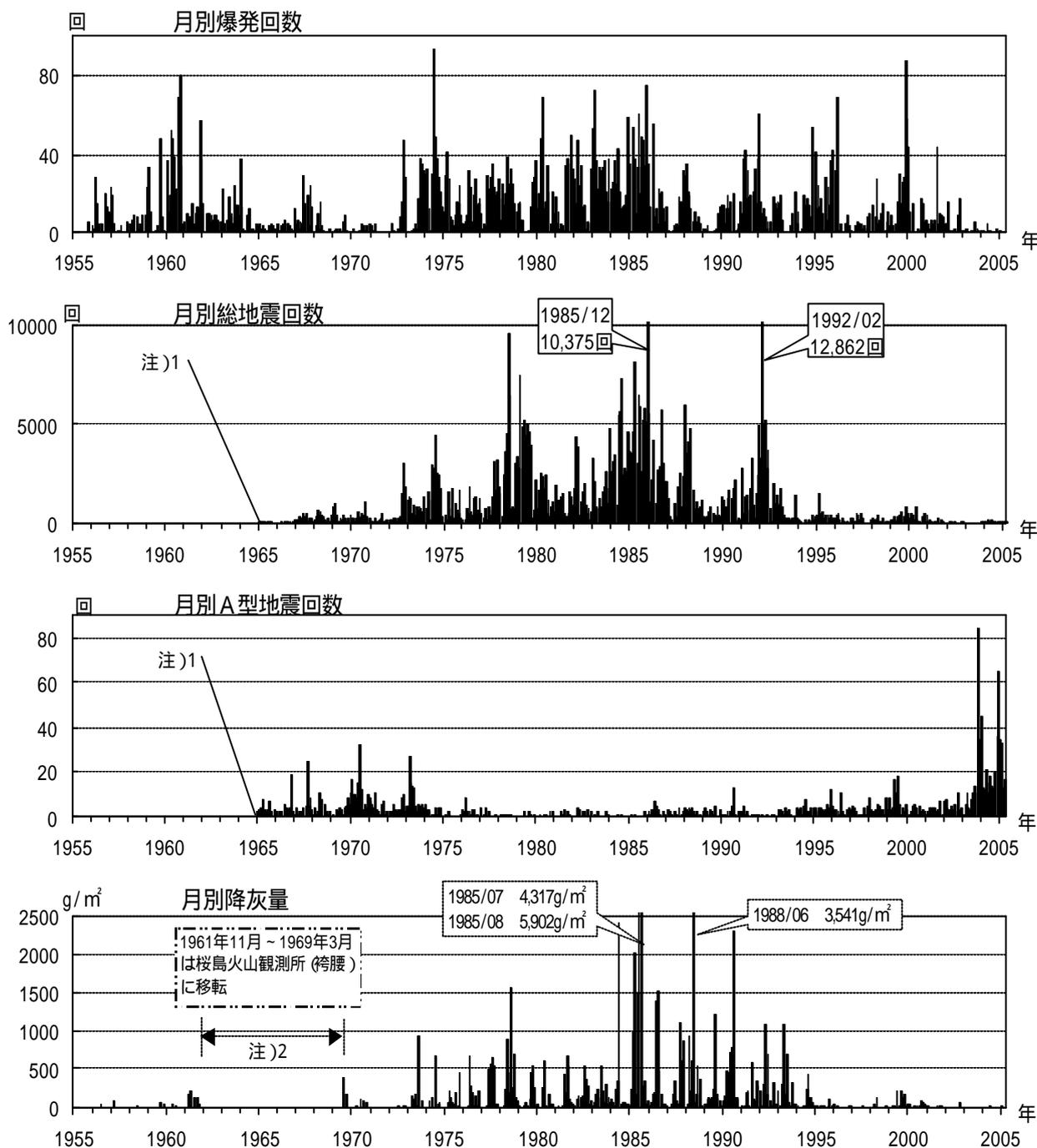


図2 火山活動経過図(1955年1月～2005年4月)

注)1：震動観測点A点における総地震回数およびA型地震回数は、1965年からのデータをグラフに示した。

注)2：気象台での降灰量の観測は1994年2月24日までは鹿児島市荒田1丁目、同年2月25日以降は同市東郡元町において行なわれた。なお、1961年11月から1969年3月までは桜島に観測所を移転したため降灰量の統計は中断した。

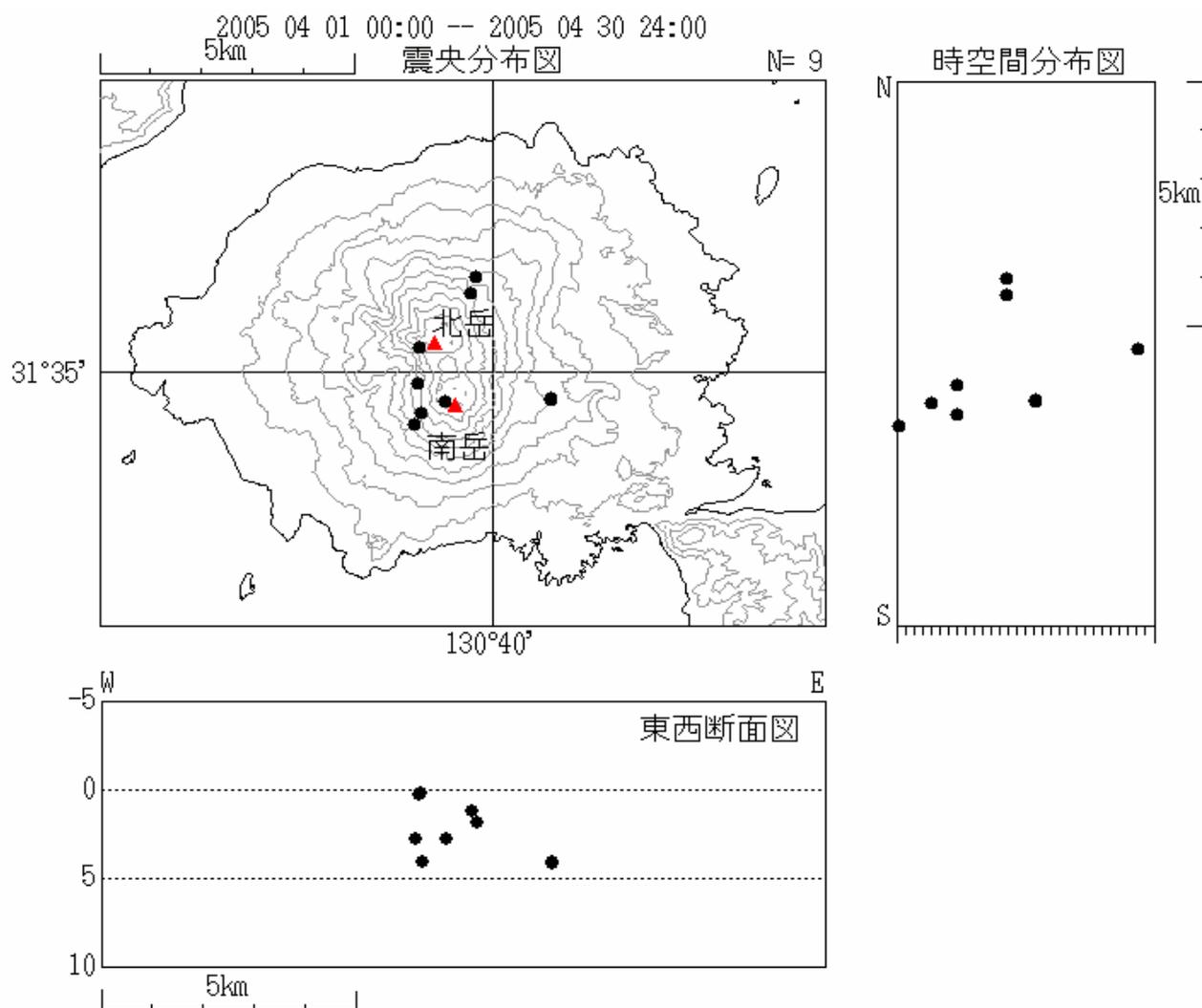


図3 震央分布図(上)と東西断面図(下)、時空間分布図(右)
(2005年4月1~30日)

本資料は、鹿児島大学、気象庁のデータを用いて作成している。

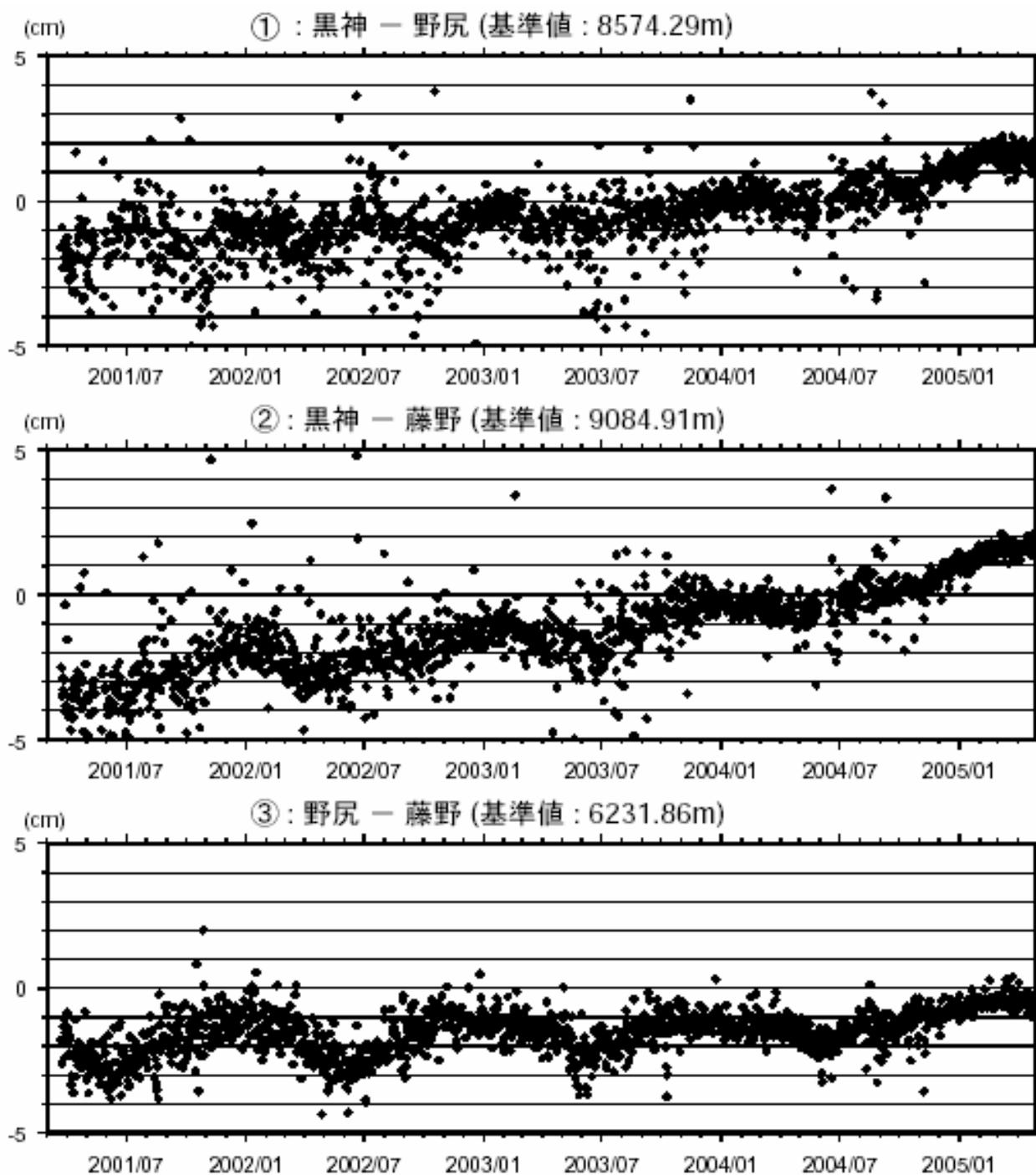


図4 GPSによる基線長変化(2001年3月22日~2005年4月30日)

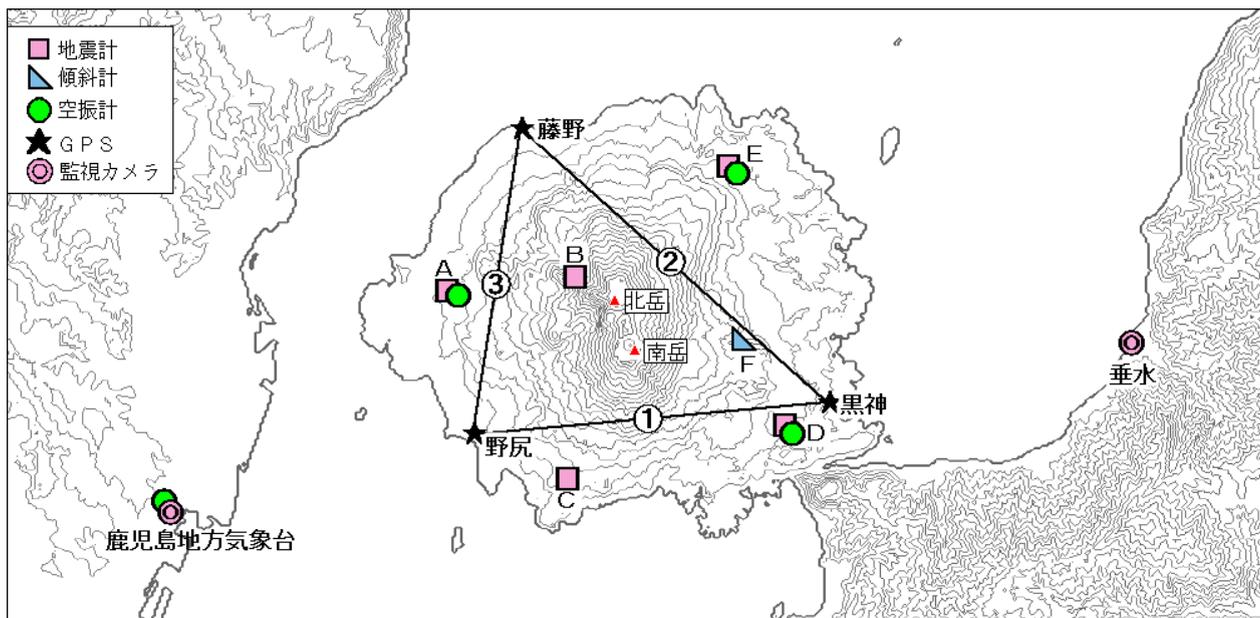


図5 観測点位置図